

新興国レポート

インド：東部ビハール州の議会選挙結果

モディ首相の国政与党インド人民党(BJP)敗れる

10月12日から11月5日まで地域により5回に分けて実施されたインド東部ビハール州(注)の州議会選挙(定数243名)の開票が11月8日に行われました。結果は、地方政党のジャナタ・ダル統一派(JD(U))を中心とする大連合が議席数を従来の117から178へ大きく伸ばす一方、モディ首相率いるインド人民党(BJP)は友党と合わせた議席数を現有の93から58へと減らしました。(注)人口は約1億人で、一人当たりGDP(国内総生産)水準等から、インドの中で最も貧しい州のひとつとされています。

上院議員は、大統領指名枠を除けば約30余りの各州の州議会選挙に基づく間接選挙で選ばれます。任期は6年で原則としてほぼ3分の1が2年ごとに交代する仕組みです。BJPは下院(定数545名)では昨年5月の総選挙での勝利により、単独で約51%(過半数)、連立与党(国民民主同盟)として60%強を占めますが、上院(定数245名)では単独で20%弱、連立与党としても約26%を占めるに過ぎません(2015年10月時点)。インドの国会は、下院は与党が、上院は野党が主導権を握るネジレ状態にあります。上院でもBJPが第一党となるには、今後順次実施される州議会選挙で勝利を重ねていく必要があります。

モディ首相は就任後のマハラシュトラ州とハリアナ州選挙で大勝をおさめたものの、今年2月のデリー準州では70議席中3議席と改選前の32議席を大きく下回る惨敗を喫しています。今回のビハール州議会選挙は、BJPが勝利すれば今後の上院議会選挙で過半数を獲得するための勢いを得られるとの見方から、重要な選挙と位置付けられていたようです。事前の予測では苦戦するとの見方もあったことから、今回の敗北が市場に与える影響は限定的なものに留まるものと思いますが、国会のネジレ状態が更に続くことで、モディ首相は政権運営面で今後も厳しいかじ取りを迫られる可能性もあります。

インドが変わるとの国民の期待を集めて昨年5月の選挙で大勝し、10年ぶりの政権交代を果たしたモディ首相及びBJPですが、改革の遅れに対する不満が今回の選挙結果につながった側面もありそうです。モディ首相には、指導力を発揮して公約に掲げた政策を出来るだけ早く実現することが求められそうです。

図表1: 議員数の多い州(上位5州)の上院議員数等

(2015年10月時点)

NO	州名	州議会 議席数 (名)	第一党	上院 議席数 (名)
1	ウッタル・プラデシュ	404	Samajwadi Party	31
2	ウエストベンガル	295	All India Trinamool Congress	16
3	マハラシュトラ	289	Bharatiya Janata Party (BJP)	19
4	ビハール	243	Janata Dal (United)	16
5	タミル・ナドゥ	235	All India Anna Dravida Munnetra Kazhagam	18

図表2: 今後の主な州議会選挙予定

(2015年10月時点)

州名	選挙予定	上院議席数 (名)
タミル・ナドゥ	2016年4月	18
ウエストベンガル	2016年4月	16
ウッタル・プラデシュ	2017年4月	31

出所: 図表1~2はインド選挙管理委員会データ等を基にニッセイアセットマネジメントが作成

●当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●当資料のいかなる内容も将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。